

2 登別市への移住・定住の促進

- ▶平成28年度事業費 198万4,000円
- ▶問い合わせ 企画調整グループ (☎01122)

人口減少社会に対応し、登別市への移住などを促進するため、登別市への移住を検討している方に役立つ情報提供やさまざまなサポートを行う『移住相談ワンストップ窓口』を設置しています。

登別市での生活を体験していただく『ちょっと暮らし』では、移住体験住宅の手配や滞在中の生活アドバイス、実際にまちを案内するなど、移住後の暮らしを想像できるようさまざまな取り組みを行っています。

また、移住ポータルサイトの制作や全国情報紙にPR記事を掲載するなど、登別の住みやすさを全国に発信するとともに、北海道への移住希望者が参加するイベント『北海道暮らしフェア』に出展。平成28年度はこれまで参加していた大阪会場に加え、新たに東京会場にも出展し、移住相談を行っています。



▲移住体験住宅などの紹介をしているパンフレット



▲北海道暮らしフェアで行っている面談方式の移住相談

4 高台避難誘導看板の設置

- ▶平成28年度事業費 199万1,000円
- ▶問い合わせ 総務グループ (☎01130)

平時の津波防災の啓発を図るほか、大津波警報などの発表時に、市民や観光客などが速やかに高台避難場所に避難できるよう、高台避難場所までの誘導看板を平成28年度から平成30年度にかけて設置します。

- ▶平成28年度設置予定箇所 幌別鉄南地区、鷺別地区



▲避難経路などに設置する高台避難場所への誘導看板の一例

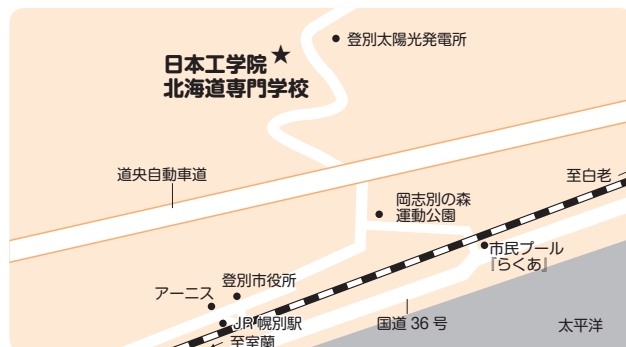
3 日本工学院北海道専門学校連携事業

- ▶平成28年度事業費 275万円
- ▶問い合わせ 総務グループ (☎01130)

平成27年9月に締結した日本工学院北海道専門学校との包括連携協定に基づき、未来を担う人材の育成や市民の教育・文化活動などに資するため、同校が行う学生の確保に関する取り組みなどに対し支援を行っています。

平成28年度は、同校の学生や市民などが安全・快適に同校の体育施設を利用できるように内壁の修理に係る費用の補助や学生確保のPRを図るため、同校の学生がデザインしたポスターの制作や設置学科ごとの授業内容・アピールポイントを紹介する動画の制作に対し補助します。

また、学生のスキルアップを市でも後押しするため、市バスのデザインを依頼しました。



▲日本工学院北海道専門学校の学生がデザインした市バス